第46回コンクリート工学講演会 | A. 材料・施工 | 環境配慮型コンクリート（材料）

環境配慮型コンクリート（材料）1

座長:松元淳一(土木),中山英明(建築)
2024年6月26日(水) 15:20 ～ 17:20 第2会場 (小展示室B)

[1221]炭酸カリウムの添加が低炭素型セメントの硬化反応および CO_2固定量に及ぼす効果

福留和人[1], 髙木亮一[1], 鈴木好幸[1], 斎藤豪[2] (1.安藤・間 2.新潟大学)

キーワード：炭酸カリウム、低炭素型セメント、圧縮強度、CO_2固定量、水和物組成、スラグ反応率 potassium carbonate、 low carbon cement、 compressive strength、 CO_2 fixation、 hydrate composition、 slag reaction rate

炭酸カリウムの添加が高炉スラグ微粉末およびフライアッシュを多量に混合した低炭素型セメントの硬化反応および CO_2固定量に及ぼす影響を評価した。その結果，高炉スラグ混合率が高いほど炭酸カリウム添加による強度増進が大きく，アルカリ刺激剤としての効果が確認できた。また， CO_2固定量は炭酸カリウムの添加により増加し，高炉スラグ混合率が高いほど $CaCO_3$として固定される割合が高くなることが確認された。

©公益社団法人 日本コンクリート工学会